

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2002年7月23日

アイダホ州南部を中心にイナゴの大群が発生しており、作物に被害が発生している。7月21日に終わる週の中心的な農作業は殺虫剤撒布と灌漑作業であった。各地の気温は同州の夏の気温としてはマイルドと言え、最高気温は88～97度、最低気温は42～56度F程度であった。農作業可能日数は州平均6.9日であった。降水は無かった事より土壌水分は前週より少なくなった。冬小麦の収穫が南西地区を始め各地で開始され、北部地区の海拔の低い地方でも収穫が始まった。単位収量についての情報は未だ出ていない。北部地区の春小麦にはstrip rust (黄さび病) の発生が観られ、農薬散布が必要に応じ実施されている。乾燥地帯の夏季休耕地に於ける小麦の状況は、更に悪化している。

2002年7月21日現在

土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	15	41	44	0
Last week (%)	13	39	48	0

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	3	21	32	44	0

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	0	2	23	66	9
Spring wheat (%)	1	6	19	59	15

小麦進捗状況：

	This week	Last week	2001	Ave.
Winter wheat turning* (%)	80	63	77	73
Winter wheat harvested (%)	2	0	6	3
Spring wheat headed (%)	97	87	93	90
Spring wheat turning* (%)	36	22	31	35

*turning : turning color

Source : Idaho Agricultural Statistics Service